

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	関市立桜ヶ丘中学校		
実 施 期 間	平成25年5月～平成25年11月		
実 施 概 要	① 授業（年3回）・体育大会・合唱祭の家族参観 ② 地区ふれあいセンターでのイベント・文化祭参加 ③ 地域の保育園園児との交流（11/6） 赤ちゃん体験（10/1・10/22） ④ P T A資源回収（年3回）		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約 400人	計 約460人
	地域関係者	約 60人	
実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none">・年間行事である授業参観日や体育大会に、学校を広く開放・公開した。体育大会では、自治会連合会支部長や主任児童委員、地域の敬老会の方々に参観していただき、現在の本校の様子を参観していただいた。・地域で子どもを育てる意識・伝統があり、地域の夏まつりや文化祭などの多くの諸行事に、ボランティアとしてのべ156人の生徒が参加した。特に田原地区のボランティアに参加した生徒は、9月8日に行われた『地域委員会を考える勉強会』で実践発表を行った。・平素の学校活動で、保育園児を受け入れ、今年度は「雑巾作り」を通して交流を行った。また、乳幼児の育て方なども、関係者の協力を得て交流授業として行った。・P T Aの方々の全面主導で、生徒が全員参加して年3回の資源回収を行った。 		
成 果 及 び 課 題	<ul style="list-style-type: none">・現在の本校の落ち着いた状況、生徒の意欲的に活動する状況、生徒と教師が一体となって活動する状況を知って頂いた。地元へ長く住む住民の方からは、本校の現況にお褒めの言葉をいただいている。・ボランティアを主催する方々からは、「いろいろ積極的に仕事を行って来てありがたい。よく育っている。」とお褒めの言葉をいただいている。また、上級学年が下学年を指導するなど、各地域で引き継がれていく姿が見られる。なお、ボランティアに参加した団体のうち3団体が関市の善行青少年表彰を受けた。・協力的な保育園や乳幼児を抱える母親の皆さんに、日頃できない体験をさせていただくことができ、生徒は多くのことを学んでいる。 生徒の感想：小さい子は苦手で不安だったけど、たくさん触れ合うことができた。子育ては大変だけど、日々の成長が嬉しいということも知った。自分も大事に育てられたんだと思う。・資源回収活動においては、保護者や地域の方々の積極的に協力していただける姿もあり、生徒達は勤労精神や将来地域で活躍するときの協力の大切さを多く学んでいる。		